

# 令和4年度 入退院支援連携強化研修会(ガイド編)

## アンケート集計結果 (函館市)

n = 78 (回収率 27.7 %)

### 1. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	20	(25.6%)
・介護機関	54	(69.2%)
・その他 (市役所, 保健所)	4	(5.1%)

### 2. 各々の職種をお聞かせください。

・医師	0	(0.0%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	11	(7.7%)
・保健師	8	(5.6%)
・看護師	13	(9.2%)
・ケアマネジャー	75	(52.8%)
・相談員	11	(7.7%)
・介護職員	4	(2.8%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	5	(3.5%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・マッサージ師・鍼灸師	0	(0.0%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	7	(4.9%)
・その他	8	(5.6%)

(社会福祉士5名・相談支援院兼就労支援員1名・助手2名)

### 3. 今回のテーマはいかがでしたか？

・よかった	75	(96.2%)
・どちらともいえない	3	(3.8%)
・よくなかった	0	(0.0%)
・無回答	0	(0.0%)

#### 【ご意見等】

##### 【ケアマネジャーからの意見】

- ・それぞれの機関や立場からのお話を聞くことができ勉強になりました。
- ・コロナ禍に入ってから退院支援に関し、医療関係者も大変ご苦労されていると思いますがケアマネからの視点を高橋さんが率直に発信してくださいました。ディスカッションでは各関係機関が新たな気づきができたと同時に、情報提供、共有の大切さを感じました。ありがとうございました。

- ・わかりやすく、ケアマネからの意見もきいて下さったので改善のヒントになればと思います。
- ・退院後、利用者様やご家族が後悔ない生活ができるよう支援していきたい。退院時の病院側、退院後の在宅介護の情報共有をしていただく事ができれば良いと思います。大変勉強になりました。
- ・医療機関側のことについて知ることができた。
- ・様々なご意見を聞くことができ、情報共有するときの注意点等を知ることができました。研修を視聴させて頂き、ありがとうございました。
- ・共愛会ケアマネの高橋さんの発表を聴いて、同じ苦労をしたことに共感した。また、退院前に確認したい内容をしぼって情報を得るということを活用させていただきます。家族に家屋内の写真を撮影してもらいたいと思いました。
- ・コロナ禍での困難さや工夫など事例に基づいて知ることが出来た。
- ・メディカについて知れたことは良かった。
- ・本人と主治医の間で話をし退院許可がでてケアマネが知らないうちに退院しているケースがあるというお話があり、自身のケースでもありサービス調整に大変な思いをしたことがある。メディカについて、訪看さんがタイムリーな情報を得る事が出来、それをケアマネに落とし込んでくれるので、利用者さんの身体状況が把握しやすくなったと思います。居宅でも活用していけたらと思いました。
- ・ID linkの有用性について理解できた。
- ・コロナ禍、医療機関も居宅介護支援も施設もサービス事業所も、入退院時スムーズにいかないことが多々あり、どこも大変だったと思います。みんな大きく頷きながら視聴していました。
- ・医療との連携の重要性が理解できた。今後の活用を検討したい。
- ・病院関係機関の大変さや在宅への思いやりが感じられて嬉しく思いました。有難うございました。
- ・各職種の意見を聞くことができ参考になりました。ぜひ、Medikaを利用してみたい。
- ・医療、介護、ご家族などの立場の違いによって解釈が異なる点についての部分がとても参考になりました。
- ・コロナ禍の中で本人と会えずに退院しなければならない状況があり、本人の意向や状況をなかなか得る事が難しかった事があります。動画研修を受け医療の現場での大変さも解り、病院、ケア面、本人家族、関係機関との連携や協力がいかに重要である事を改めて感じ、本人にとってのより良いサービスを提供していけたらと感じました。とても勉強になりました。ありがとうございました。今後も研修会に参加したいと思います。
- ・入退院の実際の現場の病院、在宅側の話聞いて勉強になりました。
- ・コロナ発生直後から現在まで、感染予防を実施しながら、どうすることがベストかを様々な考えて工夫しながら各職種が患者様、利用者様に向き合ってきたことが各職種を通して感じられましたし、困難を超えるときには職種を超えて互いの立場を思いやる気持ちが何より大切で、それが良い連携につながっていくと感じました。

#### 【包括:社会福祉士からの意見】

- ・コロナ禍により、面会制限などある中において、各関係機関が苦労されながらも情報共有するために様々な工夫されていたことがわかりました。IDLINKが更に浸透して活用できれば良いと思いました。

#### 【リハビリスタッフからの意見】

- ・リハビリスタッフとして患者さんとの関わり方の視線が少し変わるきっかけになりました。

#### 【医療機関:看護師からの意見】

- ・役割の違う立場からの話が聞けて連携の重要性がよくわかった。退院時に作成する看護サマリーは、自宅をイメージしたより具体的な表現でなければならぬと痛感した。項目を埋めるのではなく、作成の意味をしっかり理解させられるように指導していきたい。
- ・とても参考になりました。今後の入退院業務に活用させていただきます。

#### 【医療機関:事務員からの意見】

- ・他職種の立場からの意見が聞けてとても良い研修でした。

#### 【MSWからの意見】

- ・とても参考になりました。道南メディカの説明もとてもよくわかりました。コロナ禍で様々な苦労があったことを振り返りながら研修を聞かせていただきました。コロナ禍で普及したりリモートでの病状説明や面会、動画での情報提供等の取り組みは、ご家族や支援者が遠方であったり、病院まで行くことが難しい場合の選択肢として、今後の支援につながる取り組みになったと改めて実感しました。

#### 【保健師からの意見】

- ・私の手技の問題と思うのですが、残念なことに動画は見る事が出来ませんでした。全ての資料を拝見しました。とてもわかりやすく、ID-LINKのあらましについて知ることができました。現在、函館市で展開されている連携の実際について学ぶことができました。

#### 【薬剤師からの意見】

- ・調整のすり合わせの難しさを強く感じました。情報提供の共有をICTで行うことが重要なんだなと思いました。
- ・入退院支援を実際に行ったことがないため今後のために参加してよかった。実際の流れを掴むことができたと思います。
- ・多職種の皆様の現場での生の声を聞けたので在宅における今後の取り組みにたいへん参考になりました。道南メディカについて説明を受けたので勉強になりました。今後参加して活用してみたいと思いました。
- ・私は調剤薬局で勤務しておりますが、各職種の皆さんが患者さんに対して、各々の視点でどのように関わっているのかをまず知ることができました。地域・ご自宅で過ごす支援をする上で、皆さんの強みを実際の臨床で何が困難となっていたのかを学ぶことができました。
- ・ID-Linkというツールがあることを知らなかったが、このツールを利用することで他職種との連携をとりやすくなり退院後の支援を充実したものにしやすくなることを知った。

\*多数同意あり、まとめて掲載しております。

#### 4. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

##### 【具体的な内容等】

#### 【ケアマネジャーからの意見】

- ・入退院支援連携検討会・事例検討会・事例紹介等
- ・減算になってしまう内容等、制度について。
- ・認知症の方と家族への支援
- ・5類移行後の病院の対応について
- ・食に関する事。住宅改修など。
- ・居宅療養管理指導について
- ・医療と介護の情報提供の連携について
- ・医療と介護のメディカの活用について、もう少し詳しく聞きたい。

#### 【リハビリスタッフからの意見】

- ・色々な職種を交えたディスカッションを聞いてみたい。

#### 【介護機関:相談員からの意見】

- ・サービスマナー研修。虐待防止研修。

#### 【薬剤師からの意見】

- ・医療機関までたどりつけない患者さまを、どうやって「つなぐ」のか、どうやって「した」のかを学びたいです。
- ・函館の実情や、全国で先駆けて行われている取り組みなどを知れたら嬉しいです。
- ・各職種の方達が取り組んだ結果うまくいった例や失敗に至った例など具体的に聞きたいと思います。また、薬剤師に求めることや相談など聞きたいです。医師や薬剤師、介護福祉士など幅広い職種の意見も聞きたいです。
- ・今回は入退院時の内容でしたが、退院後の問題になっていることや薬剤師に期待されることなど学べたら幸いです。
- ・在宅医療で医師が薬剤師に対し求めることについての研修会。

\*多数同意あり、まとめて掲載しております。

#### 5. 講師への質問がございましたら、お書き下さい。後日、ホームページにて回答いたします。

・